

放射線画像からの新たな診療情報の抽出

(大阪大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会 承認番号：17306-2)

【研究期間】

2017 年 11 月 27 日～2027 年 12 月 31 日

【目標症例数】

1000 例

【研究目的】

単純 X 線検査は古くから用いられている手法であるが、胸部や骨に代表される画像は情報量が多く、また簡便に行えるため、現在も様々な診療科で広く利用されている。他方、2000 年以降の急速なデジタル化に伴い X 線機器の性能や画像処理技術の発達による画質の改善、また整形外科に代表される撮影ポジショニングの多様性により、得られる画像情報は格段に増加している。しかしながら、現状得られた画像から最大限の情報が得られているとは言い難く、多くの情報を含んでいると思われる。そこで今回、診療で得られる放射線画像データを用い、様々な画像の計測や処理、解析を行うことで、診療に付加できる情報を抽出することを目的とする。

【研究方法】

対象) 当院で診療に用いられている放射線画像 (2012 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日)

方法) 画像の取得、計測および処理は、以下の 2 種類の方法で行う。

- ① すでに院内ネットワークに接続されている放射線情報端末やワークステーションを利用し、そのソフトを利用して解析する。
- ② 画像を匿名化して抽出し、データを画像処理装置に移行して解析を行う。

【研究機関名】

大阪大学医学部附属病院 (単施設)

【個人情報の取り扱い】

本研究は大阪大学のみで実施されます。画像データやその他情報は匿名化により厳重に保護・管理されます。本研究に関わる個人情報は研究成果の発表時も含め、外部に公開されることは一切ありません。

【その他】

本研究は過去に取得した既存画像を利用するため、患者さんに新たな検査や治療の追加、費用負担が発生することは一切ありません。

【問い合わせ先】

ご希望に応じ、他の患者さんの個人情報保護や本研究に支障がない範囲内で、この研究に関する資料を入手することができます。また、本研究への参加は任意であり、拒否することもできます。なお、研究協力を拒否された場合においても、当院での診療において不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでに研究成果が学会や論文などで公開されている場合はデータを破棄することができません。対象症例に該当する患者さんの中で本研究への参加拒否をご希望される方は、下記の研究責任者までご連絡ください。

大阪大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師

松澤 博明（研究責任者）

TEL: 06-6879-6812